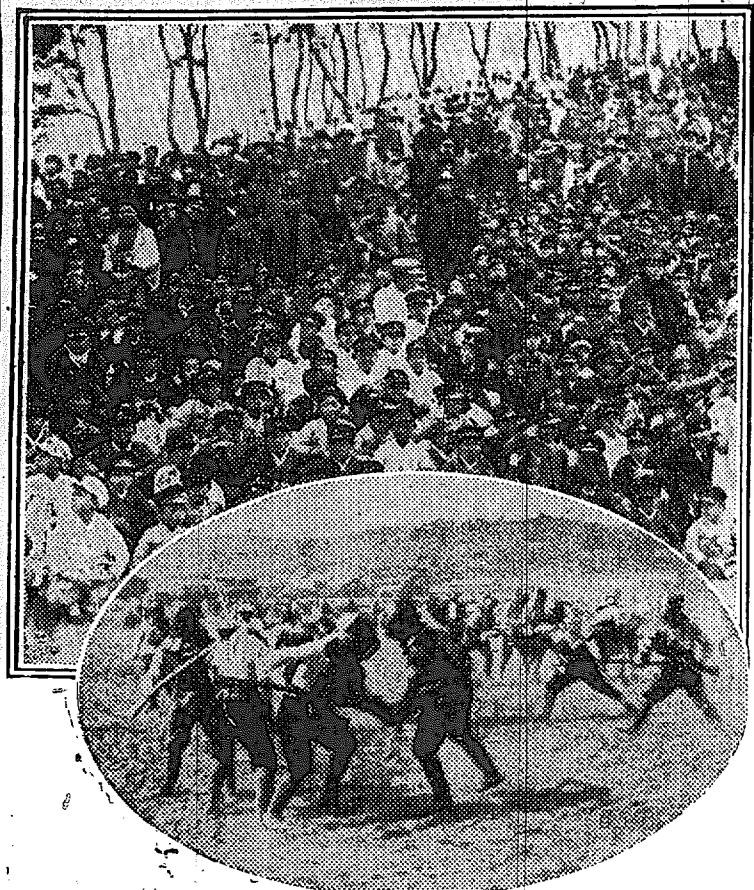


立派にさく
 責任分量で



天 氣 豫 報



快翔一氣海峽を横断して

小關兩中尉大邱に著陸す

和田中尉は洛東江に不時著陸

三機翼を並べて

本日京城へ飛來せん

待つと切、十日、京城を飛越した。午後三時、三機翼を並べて、京城へ飛來せん。三機翼を並べて、京城へ飛來せん。三機翼を並べて、京城へ飛來せん。

三機翼を並べて

本日京城へ飛來せん

待つと切、十日、京城を飛越した。午後三時、三機翼を並べて、京城へ飛來せん。三機翼を並べて、京城へ飛來せん。三機翼を並べて、京城へ飛來せん。

三機翼を並べて

本日京城へ飛來せん

待つと切、十日、京城を飛越した。午後三時、三機翼を並べて、京城へ飛來せん。三機翼を並べて、京城へ飛來せん。三機翼を並べて、京城へ飛來せん。

廣島を發す

廣島を發す

廣島を發す。廣島を發す。廣島を發す。廣島を發す。廣島を發す。廣島を發す。廣島を發す。廣島を發す。廣島を發す。廣島を發す。

安邊中尉墜落す

安邊中尉墜落す

安邊中尉墜落す。安邊中尉墜落す。安邊中尉墜落す。安邊中尉墜落す。安邊中尉墜落す。安邊中尉墜落す。安邊中尉墜落す。安邊中尉墜落す。安邊中尉墜落す。安邊中尉墜落す。

大邱に飛來す

大邱に飛來す

大邱に飛來す。大邱に飛來す。大邱に飛來す。大邱に飛來す。大邱に飛來す。大邱に飛來す。大邱に飛來す。大邱に飛來す。大邱に飛來す。大邱に飛來す。

二機釜山の上空を通過す

二機釜山の上空を通過す

二機釜山の上空を通過す。二機釜山の上空を通過す。二機釜山の上空を通過す。二機釜山の上空を通過す。二機釜山の上空を通過す。二機釜山の上空を通過す。二機釜山の上空を通過す。二機釜山の上空を通過す。二機釜山の上空を通過す。二機釜山の上空を通過す。

和田中尉

和田中尉

和田中尉。和田中尉。和田中尉。和田中尉。和田中尉。和田中尉。和田中尉。和田中尉。和田中尉。和田中尉。

小關中尉無事

小關中尉無事

小關中尉無事。小關中尉無事。小關中尉無事。小關中尉無事。小關中尉無事。小關中尉無事。小關中尉無事。小關中尉無事。小關中尉無事。小關中尉無事。

青島戦の勇士

青島戦の勇士

青島戦の勇士。青島戦の勇士。青島戦の勇士。青島戦の勇士。青島戦の勇士。青島戦の勇士。青島戦の勇士。青島戦の勇士。青島戦の勇士。青島戦の勇士。

機體修繕

機體修繕

機體修繕。機體修繕。機體修繕。機體修繕。機體修繕。機體修繕。機體修繕。機體修繕。機體修繕。機體修繕。

陸軍記念祝典

陸軍記念祝典

陸軍記念祝典。陸軍記念祝典。陸軍記念祝典。陸軍記念祝典。陸軍記念祝典。陸軍記念祝典。陸軍記念祝典。陸軍記念祝典。陸軍記念祝典。陸軍記念祝典。

▲募集▼

地獄に下りて見ると、
 身強體健、高小、小學校卒業
 十六歳以上、一名
 希望者は、至急、該地方の方
 は、所費を、函面にて申
 込め、
 川本町四丁目
 野田 千鳥正宗支店
 演藝案内
 金館
 女猿飛
 伯林の狼

年より自働車により鐵橋に乗り移り全き力
 悉行の汽車に飛乗り實に大冒険奇
 々アリスボツ兩人の身邊には益々

[illegible]

新西遊記・新壺陽全四回
お芝居にて有名なる澤市お里銀を
仕組たる大悲劇
下國ラスキー會社大傑作

早川伊勢屋氏出でて米國堺に名成りて
 地土人風習を以て大志を遂るる快事也
 傳して氏は朝朝に下りて又々大人氣な
 して活かなる最良之國に大志遂活也
 實田記社志者想南大名人
 霧隠才藏 全四目揚
 九州三好山に閉居する貴門者の命
 に依り九好山に入道して佛果の位
 勤行に復命なき以て大威を顯し
 動村に復命なき以て大威を顯し
 大志遂活の助以下佛徒大任の功
 大志遂活の助以下佛徒大任の功
 毎月十五日日曜祭日昼夜開帳
 本門二丁目 喜樂米店

三月五日より三大傑作映畫提出
實寫ヒラミツト

應門通夜物語
 全四卷
 一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

丸は天竺に流されて、
 父が妄執を晴らす云ふ松之助一
 日の厭身的冒險撮影
 一口十一日 晝夜開篇

[illegible]

電話 三六〇番 浪花館

ては其弊害も亦甚大なるべく一
血客先に取りても容易に其内容
の毒を吸出し得て居つて外

▲募集▼

地獄に下りて見ると、
 身強體健、高小、小學校卒業
 十六歳以上、一名
 希望者は、至急、該地方の方
 は、所費を、函面に、にて申
 出、願
 川本町四丁目
 支店
 千鳥正宗支店
 演藝案内
 金館
 女飛 飛 飛 飛
 伯林の狼 飛 飛 飛
 四郎五郎十郎 飛 飛 飛
 女飛 飛 飛 飛

年より自働車により鐵橋に乗り移り全き力
 悉行の汽車に飛乗り實に大冒険奇
 々アリスボツ兩人の身邊には益々

[illegible]

新西遊記・新壺陽全四回
お芝居にて有名なる澤市お里銀を
仕組たる大悲劇
下國ラスキー會社大傑作

早川伊勢屋氏出でて米國堺に名成りて
 地土人風習を以て大志を遂るる快事也
 傳して氏は朝朝に下りて又々大人氣な
 して活かなる最良之國に大志遂活也
 實田記社志者想南大名人
 霧隠才藏 全四目揚
 九州三好山に閉居する貴門者の命
 に依り九好山に入道して佛果の位
 勤行に復命なき以て大威を顯し
 動村に復命なき以て大威を顯し
 大志遂活の助以下佛徒大任の功
 大志遂活の助以下佛徒大任の功
 毎月十五日日曜祭日昼夜開帳
 本門二丁目 喜樂米店

三月五日より三大傑作映畫提出
實寫ヒラミツト

應門通夜物語
 全四卷
 一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

丸は天竺に流されて、
 父が妄執を晴らす云ふ松之助一
 日の厭身的冒險撮影
 一口十一日 晝夜開篇

[illegible]


電話 三六〇番 浪花館

ては其弊害も亦甚大なるべく一
血客先に取つても容易に其内容
の毒素を吸出し得て居つて外
以上皆長江の事讀ぶ

倉持の中古靴

[illegible]

石鹼界之霸王


 榮華山
 社合式株有
 製

精選品質本位

青竹直輸入販賣
 豐後石炭一販賣
 海產物肥料商
 左官用海草
 萬荷受問屋

釜山島高島
 三谷橋南吉

三書商店
電話一〇二二番
電略(一)又(主)二

社會

山
糖粉・官煙
振發京絨三五番

洋麵 鋼鐵 鐵道 船舶 土木
 材料 其他 工業 諸器

手三錢
も自
す良藥

械附屬品商
角野商店

救生館
第一分
東山慈惠智妹尾的一陳助滿
餘家叔夫鈴木喜久男
一節二節三

櫻天山
龍宮三九
底價三九

仁川倉庫擡頭

みたるか現株市で開設切迫に
昨今稍擡頭して一圓より一
三五十銭のプレミアムを附せ
れ相當の手合を見るに至れり

電話長
 三三五五
 四〇八八
 西曆三番
 三番
 京城南大門通三丁目
 五〇八八番
 八番
 李章魯商店
 證券部
 現物株式
 公債
 李章魯商店

目も減少し爲めに取用所の
入を減すに取らう云ふは
此處一寸頭重なるた寶
つて見たら果して何なる
其數に中つて一相あるか
知れない▲珊瑚珠は不
知れない第一寶珠に氣
取れるも同様にこれは
ある或る近く二百圓増
示すかも知れない▲圓
の面は龍頭蛇尾となつ
て居るに何かに似し
聞いただけに其裏面に
協が調つて居るのであ
るこの調を下しむから
飛出さるゝ共に餘り下
るものも氣味悪い先づ
保合つて成行を願する

はるばるまい！主方株は一寸落
いて居るが、端株の方は大體に
強硬で、この二は要するに増
えんごの特別材料を含んで居
るからして、**△併し**其材料の中
は随分怪しいものもある筈で、**○**
上へ株価を釣り上げた、音よく
株や定期の買玉を買取たであ
る、強硬に出つものでもある
に、皆つかり買附き悪いのであ
る**△**又た株に出つては買占めら
れる

建築の準備整ふ
一セメント石灰
便利株式會社中野代理店
大田 富士材木店

いものも少なくない去りなが

如何に有利好望な終るものか買
の結果は大有失敗に終るものがある。其は多數の持株を處分
に困難を呈するからである。日
の處では生計を維持して居る
が一戰後時期に入つたら相
は自然に下り雷因買がなくな
ののみならず却て味方の買物に
例されて始末にあへぬこと
の去りまで今日買扱へる
でも中々賣手際に足らない
周知から買物手際は行かぬ
る彼等の前途は失敗より外に
のるまいと思はれる。

[illegible]

其數雖中つて一相あるか
も知れぬ。○鄭船牒は不相
知ぬ。○第一箇寶共は氣果
りて終數である。或は近
く二百圓破れぬ。○増資
を示すかも知れぬ。○ま
た此は龍頭蛇尾にまつて増資

川倉庫は一時騒然として落
 ちたるが現市場は開設初迄さ
 に昨午五時開きの一圓より
 五十銭程のプレミアを附せ
 れ相當の現金を売りに至れり
 公債 株式
 現物 賣買
 李章魯商店
 證券部
 京城道通三丁目
 三四五番 五〇三番
 三四五番 四〇三番
 電話長 五五五番 西三番
 宛町たより
 大體に於て保るに不相
 部分高に於て保るに不相
 惡い氣運ひて、寸足込みが立
 て五十萬から十七萬に減少
 或は當分材料が振込を俟つ
 持續し何か材料の出現を俟つ
 變動することゝなり、東株
 直落り開始することゝなり

目切減少し爲めに取引所の
大々減つてあらう云ふは
此處一市頭並に二三賢
士に於て見たら果して何なる
其數額に中つて一相當なる
知れない。▲郵轉株は不相違重
同買其氣味に氣果しが將
取組も同株此下は稀有の
數である或るに近く二百圓増
示さずか知れない。▲郵附の増
益は龍胆蛇足になつて増資
面々は主き男を下けた併し
の間に其に其裏面に何かに
の調を設けて居るのである
此の調を設けしむから高
を發する。共に餘り下値
を覆ふ。其氣味味先づ此連
の成行を觀察する。

付するまい。主材は一枚一材、
 付して居るが端材の方は大體に
 して、強硬でそのに要するに
 せん。なんの特別材料を添へて居
 るに於てある。併し其材料の中
 は随分堅いのもある。諸君の
 入又入と鉄板を銅上へて書り見
 株や定期の買玉を賣取れる
 株や魂胆の出玉をもつてであ
 る。又た株に由つては買占めら
 建築の準備整ふ
 一セメント石灰
 便利材フエ社中材代埋店
 養州木匠ビル材木店
 大田 富士材木店

如何に有利大獲に終るも賣の結果は大敗大敗に終るものがある。其は多數の持株を處分するに困難を呈するからである。今日の處で股票を維持して居るが、朝反動時期に入つたら相場は自然に下り雷同買がなくなるのみならず、却て味方の買物ののみならず、却て味方の買物のに壓倒されて始末にあへぬことになる。去りて今日買扱ひやうで買つて中々賣つし手際には行かぬで、周知から賣却し、それではふかぬで、ある彼より買はれ、失取より外にあるまいと思はれる。

東 京 期 米 特 電	十日午前 最上 止め 五十二圓八十四錢 上 止め 五十二圓八十錢 中 止め 五十二圓六錢 下 止め 五十二圓四錢 八日拂揚 五十二圓 十日午前 五十二圓
大 阪 期 米 特 電	十日午前 最上 止め 五十四圓二八錢 上 止め 五十四圓二八錢 中 止め 五十四圓二八錢 下 止め 五十四圓二八錢 八日拂揚 五十四圓 十日午前 五十四圓

しが塙而形勢より觀れば、歐
阪地安の擗みを根據に賣崩
試みつゝある迄なれば果し
且落に正米が附隨するや否
甚だ疑はしきものなり更に
の割に下莖をりづゝある當

關係上軟派が勢ひに乗じて、
に追込めば追込む程軟派目
不利を招くに至らずや。則
の場而睨かひの今日丈けに

[illegible]

後場安持合先聞四九六一

前場大阪五十四三十七錢の如く
に戦流溢れて四叩きしが
大敵前止め四二二錢の積支
したるなり後場は又復實
始し當出來す中四四錢の手
始め五十五錢に中四四錢
五十錢の下進しけり押目
旺盛に六十錢に跳進し折柄
武勝の買物に相賣を添へて
一錢三の勢に當出來す中
一錢三の勢に當出來す中
買に三錢の如きの先三十九
の買物賣へし此邊五錢に
四錢に落付模様を引

現在 當賣 一萬〇六百

取組高
先生限
二萬六千石
五百六十石

春蔘種子各組販賣
現物松田作一
株式會社
電話 三三六號

市場雜觀

販地は天下の頭城が陣
居る丈原は遠くさす買
て東京高の割りゆれ
か動もすれば仲力
傾向があるて正米高
の買物か澄んで居る
も貨物なき商賣を
る果して販地が此
破した五十一年の堅
破したてに忍れり

落れたるんか、成色の鮮明
 は、矢張天竺の相模驛しか
 値があらゝ同時に其勢力か
 察して、一箇落を現出せぬ
 まゝであらう、逆跡を見
 のを根據にして買入るゝ
 難い▲併し先限を支配する
 の下流には、勝が軟派も追
 せを警戒せねばならぬ、同
 れば阪地の軟派は鮮明の
 羽着に正装して登るゝのみ
 羽着に正装して登るゝのみ
 羽着の鮮明が産地の出廻
 ないで、少々位、定期な計
 きたして、一向に在米は減
 少す知らず、在米は減少
 三萬三千石、かな、是格

在賣約して積出して居る分
地が安い云ふても眞逆内
に左米を移入する事も出
ないに足るは是下の正米も出
考へるに四十九圓は買つ
集難の爲め期近に廻るに渡
目に陥るであらうと見解
上けるには夫れ又の材料な
けらるに結局押米情が許さ
有るで結算押米情が許さ
り云ふ往來相場と觀測し
れば家穀を提出する程の損
まは云ふては吾客客をも
こさ

けし
 り必
 るが
 園鳥

浮かへ
 (變症)

見當 様な くらま 六十 路

ぜい

等の餘片に變じ
 なりません、さ
 れ
 せき、ぜんそく
 喘息呼吸器病
 用して病根を名
 のは一秒でも

高瀬川
 船給
 運入
 許さ
 待る
 又未
 等力
 七に
 偏七
 なる
 いこ
 約相
 納の
 物の一

眼・角散は香味爽
 艶・辨ひの人・千
 ね・祇ハツキミ
 完全・に・除く

せき
 百・日・せき
 は・か
 せき
 た・ん
 に・て
 ゴ・ホ・ウ
 と・む

A black and white illustration depicting a scene from a story. A man in a suit stands on the left, looking down at a large, dark, swirling mass that resembles smoke or a giant's foot. Within this mass are several speech bubbles containing Japanese text:

- うきまき
- わいさ
- 肺がん
- たれす
- のたん
- いた胸の
- みん
- や

漸散 解 實 調 新 記 手 的 如 華 氣
 散 散 需 小 規 筋 投 時 速 速
 漸 解 實 調 新 記 手 的 如 華 氣

東 本 舖 藥 價 一週 三日

取次全國各藥店
 振替又は為替致


大分県の胃腸病に
島田博士監査
大分県立病院
島田博士監査

內外業株式會社

自來水車

時勢

[illegible]


わきが
 人から嫌はれるクサイ
 ソバカス
 イレシ
 ミカス

人々ケツ



今早く女はせ
置ける人から
はれる不思議
早に知る秘密
法有ハカリ
病名及び病
記入東京府
大の薬師に
愛の化境の
のばはる疾
無代進呈

ラケキア

乳酸菌製劑

齊月易聖

ラクトア
腸内生産素
老、動脈硬
▽新米、

ラク

用を見る。
る諸症に有

起業界空前の好況を招致せる兩社

◆**門司築港株**

賣出價格(等株) 金貳拾圓
申込證據金(等株) 金五圓

◆**東華紡績株**

賣出價格(壹株) 金參拾參圓 拾貳圓半持込額
申込證據金(壹株) 金拾圓

門司築港株に對する五株、東華紡績株に對する三株の内容の優劣は知らざる雖も、今般期に滿ちた南社の業績は、前年と較べて、殊に近き時期に至るを見るを得べく、良好なる位置に於て營業せる。價らなす。

痔疾専門
 院長 内地
 出張中の處
 十九日歸院

京城久枝肛門病院
 電話二二〇一七番

京 城 明 治 町 二 丁 目 (本町より入と中央)

本 日 診 察 本 日 診 察
 本 日 診 察 本 日 診 察

ターゼ遠應症
 の吸収等に因する皮膚病、神經衰弱、貧血早
 衰、蛋白質含有食品多食の要ある諸症等。
 剤の各瓶、▽各地藥店にあり、▽說明書贈呈す。

れ蓋し本剤は腸内腐敗を防止し、之に原因す
 なるの事實明瞭なるによる。

ノトスタゼ

腸の疾患、腎及肝の諸症、
 神經衰弱、貧血早衰

三共株式會社
 大坂東區平野橋東
 所發出

